



平成25年度第1回 読売新聞社賞

個人表彰

受賞のことば

読売新聞社賞 最優秀賞 2級

北海道 鎌田和佳子さん

幼い頃から文章を読んだり書いたりすることが好きでした。現在は高校で国語を教えています。日本語検定の存在を知って受検を決めたのは、自らの国語力＝日本語力を再点検し、さらに磨きをかけたいと思ったからです。

1級を受けるためのステップとしての2級受検でしたが、文法や表記、そして敬語においては、わかっていたつもりでいて、実は曖昧な知識であったことに気づかされることも多くありました。日々の仕事や家事をこなしながらの受検対策は、あまり時間をかけることができなかつたのですが、分野別の問題集を使い、4級程度の問題から順に取り組んだ上で、2級の公式練習問題集、過去問題集に進みました。今までの知識を補強し、確実にしていけたことが合格につながったのではないかと思います。公式テキストで調べたり辞書を引いたりすることで新しい発見もあり、とても楽しく勉強することができました。

合格の知らせはもちろん嬉しかったのですが、この度の受賞の知らせは本当に思いがけなく、驚きました。大変光栄に存じます。ありがとうございました。

高校国語科教員としての私の仕事の一つは、生徒たちに日本語の豊かさや奥深さを伝えるとともに、言葉を使いこなせる人間を育てていくことだと思います。今回の受賞に満足することなく、さらに自らの日本語力に磨きをかけるべく、努力を重ねていきたいと思っています。次の目標は1級合格です。